

\\ 笑顔とがんばりの町 //

広
報

おのまち

2023

3

No.721



今月の表紙



おのまち認定こども園で行った、ひな祭り
で年長さん皆でパ
シャリ！
廊下には年長さんが
手作りした、個性あ
ふれる色鮮やかなう
さぎのひな人形が並
んでいました。



広報おのまちは



iOS用



android用



で配信中！

- 02 INDEX / “社会を明るくする運動”作文コンテスト優秀賞受賞
- 03 家族そろってスナッグゴルフ体験
- 04 地域おこし協力隊 小野町だから「できたこと」
- 06 おのまち認定こども園通信
- 07 笑顔とがんばり子育て応援金贈呈
- 08 小野小通信 / ふるさと文化の館情報
- 09 小野高通信
- 10 消防団員確保に係る要請活動が行われました / 寄付をいただきました
- 11 小野町チャレンジショップ出店者募集！
- 12 おのまち地域おこし協力隊活動記
- 13 農業委員・農地利用最適化推進委員募集
- 14 お知らせ
- 16 住民異動の手続きはお早めに
- 17 転出届がオンラインで提出できます / 国民年金コーナー
- 18 みんな笑顔で健康づくりコーナー
- 20 公立小野町地方総合病院からのお知らせ / 地域包括支援センターからのお知らせ
- 21 夜間診療所当番医・休日当番医
- 22 各種健診・教室などの日程
- 23 食品放射能測定結果 / 上水道水質検査結果 / お誕生日おめでとう / おくやみ申し上げます / 町の人口と世帯数
- 24 4月から休日の窓口開庁日が第2日曜日に変更になります / マスクの着用は個人の判断が基本となりました

「地域と関わるという大きな一歩を」

小野中学校3年
根本 夏海



みなさんは、「独居老人」という言葉を知っていますか。独居老人とは、一人で日常生活を送っている高齢者のことです。少子高齢化社会が進むにともなって、この独居老人の数も増加しています。

私の母は介護福祉士です。ある日の休日、私は母と地域のスーパーマーケットで買い物を買った。その時母に、「ちょっと助手席空けて。もう一人乗せるから。」と言われました。私は助手席を空け、後部座席で待っていると、しばらくして母に連れられ一人のお年寄りが車にきました。私は衝撃を受けました。そのお年寄りは鼻に管を通していたのです。

その後、母は助手席にお年寄りを乗せ談笑しながら車を走らせました。お年寄りの家に着くと、とても嬉しそうな満面の笑みで「ありがとねえ。楽しかったよ。」と言って家の中へ帰りました。すぐさま私はあのお年寄りには誰なのか聞きました。あ

みなさんは、「独居老人」という言葉を知っていますか。独居老人とは、一人で日常生活を送っている高齢者のことです。少子高齢化社会が進むにともなって、この独居老人の数も増加しています。

私の母は介護福祉士です。ある日の休日、私は母と地域のスーパーマーケットで買い物を買った。その時母に、「ちょっと助手席空けて。もう一人乗せるから。」と言われました。私は助手席を空け、後部座席で待っていると、しばらくして母に連れられ一人のお年寄りが車にきました。私は衝撃を受けました。そのお年寄りは鼻に管を通していたのです。

その後、母は助手席にお年寄りを乗せ談笑しながら車を走らせました。お年寄りの家に着くと、とても嬉しそうな満面の笑みで「ありがとねえ。楽しかったよ。」と言って家の中へ帰りました。すぐさま私はあのお年寄りには誰なのか聞きました。あ

お年寄りは八十代後半で母の勤めている介護福祉施設に通っている一人ということ、日常的に呼吸が上手くできないから携帯用酸素ボンベを使っていること、一人で重い荷物を持って歩いて帰るのは大変だから車に乗せたことなどたくさん聞きました。そして驚くべきことに、あのお年寄りは独居老人だったので。

独居老人の数は年々増えていきます。二〇一〇年は約四七九万人だったものが現在は約五六二万人まで増加しています。今後ますます増え、二〇四〇年には八九六万人を越えるという推定されています。高齢者の一人暮らしというのには様々なリスクをともないます。気づかぬうちの病気の悪化、オレオレ詐欺や振り込め詐欺、孤独死など常に危険と隣合わせと言っても過言ではありません。そんな中年々増えているのが、独居老人による犯罪です。ある事件では、配偶者と死別し年金暮らしで生活に余裕がなかった高齢者が万引きするようになってしまったという事案がありました。また、あの事件では、高齢の独身女性が両親の死亡後に孤独となり生活に困っていたが「私に注目してほしい」という思いから万引きに手

家族そろってスナッグゴルフ体験 コミュニティ助成事業



世代間の交流や家族交流を図るため、スナッグゴルフ体験会を令和4年6月から令和5年1月にかけて計5回開催しました。体験会には小学生から大人まで、延べ86人が参加しました。スナッグゴルフとは、アメリカのPGAツアープレイヤーによって考案・開発された、ゴルフの基本技術を学ぶためのスポーツです。最大の特徴は、ゴルフ未経験者や子どもでも簡単にボールを打つことができること、また屋外や室内を問わずどこでも安全にプレーできること

です。体験会では、宝沢ゴルフビレッジ所属の竹淵淳先生から指導を受けゴルフの基礎を学びました。参加した家族はのびのびと笑顔でプレーを楽しんでいました。この事業は一般社団法人自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、実施している「コミュニティ助成事業」を活用して開催しています。

第72回“社会を明るくする運動”作文コンテストで優秀賞を受賞

県が主催する第72回“社会を明るくする運動”作文コンテストで根本夏海さん(小野中学校3年)が優秀賞を受賞しました。根本さんの作品をご紹介します。

を出してしまったという事案もありました。独居老人による犯罪の動機として特に多いのが「生活の困窮」「孤独感・孤立感」です。

では、独居老人による犯罪を減らすために私たちにできることはないのでしょうか。私はある解決策を考えました。それは、私たち自ら地域と関わるようにするということです。あいさつや何気ない世間話などはとてもありきたりで小さなことと思うかもしれませんが、しかし、これによって救えるものはたくさんあると思います。母と会話していた時のあのお年寄りの笑顔は私の頭に焼きついて離れません。

まるで、母とお年寄りの心のリボンが結ばれたようでした。心のリボンとは、私が小学一年生の道徳の授業で習った時以来大好きな言葉です。地域全体をた

くさんの心のリボンで結ぶことができたら寂しい思いをする高齢者はいなくなりそうです。しかし、積極的にあいさつや話すということが苦手な人も少なくないと思います。

そこで私が考えたことは、回覧板を活用することです。今は減少しつつあるものですが、地域間の関わりを増やすにはうつつけのものだと思います。回覧板を渡しに行く時は必ず一言以上話します。そこが回覧板のメリットです。回覧板を届けに行つた時に、「今日一段と暑いですね。」など一言加えることで会話へ発展

します。自分にとって何気ないことでも、相手にとってとても大きなことである場合が多々あります。つまり回覧板によって独居老人による犯罪が少なくなる可能性があると思います。

逆に、独居老人による犯罪だけではなく独居老人を狙った犯罪も少なくできると思います。回覧板を渡しに行った時にさりげなく最近の出来事を聞くことで、気がかりなことや不審なことがあれば相談してくれると思います。回覧板は犯罪を減らし予防する最適の手段ではないでしょうか。

少子高齢化がすすまじいスピードで進んでいる今、独居老人の数も増えると予想されています。しかし、それにとまって犯罪を増やしてはいけません。私たちが増やしていかなくてはいけないものは地域との関わりです。関わりが広くなっていくことで、誰もが思い描く犯罪が少ない明るい社会へと近づくことができます。今日も様々な所で、そんな社会へ近づ

く一歩を踏み出せた人が増えればいいと私は願っています。

（原文掲載）

3 ONOMACHI March 2023



小野町だから「できたこと」

地域の方の思いと自分の思いを掛け合わせて、共に小野町を盛り上げる、小野町だからできたことがあります。あなたも一緒に「地域おこし」しませんか。



やまくち あい
山口 愛 隊員
高齢者生活支援分野

みんな一緒に健康で長生きに

私はこの1年、サロンやゆ〜ゆ〜こまちで高齢者の皆さんを対象に健康講話や体操教室を行いました。またおのまちふれあいフェスタでは『体力測定ブース』を担当させていただきました。

高齢者の方だけではなく

幅広い年齢の方々とふれあうことができ、とても充実した1年になったと感じています。いつまでも健康で元気に過ごすことができるよう、引き続き健康づくりのお手伝いをしていきたいと思えます。



健康講話や体操教室を皆さんと一緒に行いました



あい しんすけ
阿井 伸介 隊員
デジタル支援分野

デジタルへ一歩踏み出すきっかけを

私はこの1年小野町の方々へのデジタル支援として、スマートフォンやパソコンの相談に乗らせていただきました。小野町で相談を受けていると、一言説明しただけで「なるほど」と理解していただけたり、「デジタル

技術ってのは、野菜づくりの土と同じだね」など逆に私が“なるほど”と気づかされることも多かったです。ぜひご友人などと「これどうやんだ?」「こうでいいべ」といろいろ試していただきたいと思います。



皆さんのスマートフォンやパソコンへのはじめの一歩をお手伝いしました

地域おこし協力隊の日々の活動記録は下記QRコードから協力隊Facebookにアクセスしてご覧ください！



町では、平成26年度から地域おこし協力隊設置事業を実施しており、これまで10人の隊員を迎えてきました。

今年度は阿井伸介隊員（デジタル支援分野）、阿井由加子隊員（移住・定住支援分野）、山口愛隊員（高齢者生活支援分野）、山田淳輝隊員（情報発信分野）の4人体制で活動をしてきました。

活動する分野はそれぞれ違いますが、小野町地域おこし協力隊は町民の皆さんとともに、小野町を元気あふれる町にするため、全力で活動してまいりました。

今回は一年間の活動を皆さんと振り返っていきます。

小野町が活気を取り戻す1年でした

今年度は町の紹介動画、広報表紙の写真撮影、町のさまざまな活動のポスターやチラシデザインなど多岐に渡る活動をさせていただきました。

コロナ禍ではありましたが、夏井千本桜、高柴山のヤマツツジ、お神輿

担ぎ、夏まつり花火大会、マルシェ、マラソン大会なども町内で見られ、昨年度よりも活発な小野町が見られたことが、非常にうれしく思います。来年度はさらに映像の技術を向上させ、情報発信したいと思います。



やまだ あつき
山田 淳輝 隊員
情報発信分野



作成したポスター



町のPR動画も作成しました



小野町のファンを増やしていきました

移住希望者の相談や物件紹介、移住フェア参加、PR活動、ウェブサイトでの紹介などを行いました。特にオンラインで小野町の食と暮らしの魅力を配信した時は、日本各地の皆さんから「小野町の和やかでほんわかした

家庭的な雰囲気、ほっこりして、笑って、とっても楽しかった」の声を多くいただきました。そう！これこそが町の良さ！肩の力が抜けて、あったか〜い気持ちになれる。これからも伝えていきます。



あい ゆかこ
阿井 由加子 隊員
移住・定住支援分野



相談しやすい環境や雰囲気づくりも大切にしています



小野町の「食」勉強しています